

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施 自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組 の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
名取市	01学校運営上 の課題	02社会に開か れた教育課程	現在、各学校区で地域学校協働活動の取組が進み、学校と地域とが少しずつ顔が見える関係になりつつある。それに伴い学校運営や教育課程、学校の困りことなども地域に伝わり始めている。しかし、学校と地域とで、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という思いはあるものの、それをどのように実現していくか手探りの状態であり、社会に開かれた教育課程の実現についてはまだ十分とは言えない。	今後段階的にコミュニティ・スクールを導入予定。地域学校協働本部と新しくできる学校運営協会が連携し、活動できるよう支援していく。 また、学校と地域とが互いの立場を尊重し合いさらに連携していくために、今年度も学校の現状を知ってもらう研修会やコーディネート、連携のコツを学ぶ研修会を実施する予定。 さらに、地域全体で子どもを育てていくことの大切さ、必要性を地域や学校に理解してもらえるような取り組みを行う。	令和6年度には地域コーディネーター、学校、公民館職員を対象として学校運営協議会と地域学校協働活動との連携について研修会を実施した。しかし、一体的な推進についてや、地域学校協働本部と学校運営協議会の違いについても十分な理解が図られなかった。令和7年度においても引き続き、研修会や手引き等でモデル校の取り組み紹介をしていく予定である。また学校の様子を知ってもらうように学校の現状に詳しい講師を招いた研修会を実施予定。	地域、協働本部と学校、相互の願いや思いを理解し合い、同じ方向を向いて活動することで、学校のニーズと、地域、協働本部のニーズが一致した活動を実現できる。そのことによって、子どもの学びを効果的に支えることができる。	開かれた教育課程の実現を大きな効果として感じているか (年度末に名取市で実施している、地域学校協働活動の振り返りシートでの回答)	40	%	60	%	